

## 慈済大学「宗教実践と生命ケア」シンポジウムに参加・発表 金子 昭

4月21、22日の2日間、慈済大学宗教人文研究所主催の「宗教実践と生命ケア」のシンポジウムに参加した。このシンポジウムは、同研究所が教学研究の中心に据えている「信仰・実践・医療ケア」の目標理念に基づき、①宗教ボランティアの生命転換の経験、②対人援助の諸問題とその解決方法、③慈済人文現象との関連研究という3つのテーマの下で開催された。

台湾各地から30人の研究者や実践者が発表し、また全体の参加者も100人を超えた。発表内容も、専門的仏教学、仏教的生命倫理やその実践・教育の報告、また證嚴法師の教えを核とする慈済教学、さらに慈済ボランティアの活動調査報告及びその分析など、多岐にわたった。

私は唯一の日本人として参加し、「東日本大震災における慈済の救援」という発表をした（発表は中国語）。これは、慈済基金が総力を挙げて行った義援金（50億円）の配布活動の状況とそれに対する日本人の反応と評価、及び今後の日本社会への同会の活動展開の可能性について論じたものである。

私は、慈済大学での発表は2009年に続いて2回目で、同大学関係者と交流を深めることができた。

## デンマーク出張報告

八木三郎

5月16日～23日までの期間、現在進めている個人研究のためデンマークに出張した。今回の訪問は、昨年に引き続きバリアフリー施設（障害者用駐車場）の利用実態調査およびこれらの施設設置の法的根拠ならびに障害当事者団体がまちづくりにおいてその果たす役割等について調査をするためにコペンハーゲンを訪れた。

デンマークは障害者福祉のうえで重要な理念である「ノーマライゼーション」の発祥の地であり、人々のモラル醸成に力を注ぎ、社会連帯を重視する国である。そのデンマークでの事例調査を行い、その結果を基にわが国の福祉のまちづくりのあり方、とりわけ現在わが国で社会問題となっているユニバーサルデザイン施設の利用上のコンフリクト（摩擦）の問題解決への方途を検討し、解明することを研究課題としている。

調査施設は、コペンハーゲン市の中央駅北東に位置する徒歩20分の各種専門店が凝集する大型複合施設（フィスケトロピット・ショッピングセンター）である。その施設内にある障害者用駐車場の利用実態について調査した。加えて、同じ北欧の国

であるスウェーデンのマルメ市にあるショッピング施設にも訪れた。

また、バリアフリー施設設置に関する障害当事者団体の果たす役割の調査では、障害当事者団体の本部であるデンマーク障害者協会（DH: Danske Handicaporganisationer）を訪れインタビュー取材を行った。これらの調査結果は後日、詳細を報告する予定である。

天理大学おやさと研究所  
平成24年度公開教学講座

## 信仰に生きる

### 『逸話篇』に学ぶ（1）

教祖のご在世当時、道の先人たちは教祖から直接聞いたお言葉をしっかりと心に治め、生涯、自ら信仰を生きる心の指針としました。そうした教祖の逸話は、世代を超えて語り伝えられ、お道の信仰の支えになっています。

この公開教学講座では、『稿本天理教教祖伝逸話篇』においての教祖の逸話を手がかりとして、お道の信仰の世界の一端を明らかにしたいと思います。

4月25日(水) 7	「真心の御供」	深谷忠一
5月25日(金) 25	「七十五日の断食」	堀内みどり
6月25日(月) 10	「えらい遠廻りをして」	澤井義次
8月25日(土) 2	「お言葉のある毎に」	幡鎌一弘
9月25日(火) 11	「神が引き寄せた」	八木三郎
10月25日(木) 31	「天の定規」	澤井義則
11月25日(日) 22	「おふでさき御執筆」	安井幹夫

場所：天理教道友社6階ホール

時間：13:00～14:45

\*お車での来場はご遠慮下さい。

グローバル天理

第13巻 第7号（通巻151号）

2012（平成24）年7月1日発行

© Oyasato Institute for the Study of Religion  
Tenri University

発行者 深谷忠一

編集発行 天理大学 おやさと研究所

〒632-8510 奈良県天理市杣之内町1050

TEL 0743-63-9080

FAX 0743-63-7255

URL <http://www.tenri-u.ac.jp/oyaken/j-home.htm>

E-mail [oyaken@sta.tenri-u.ac.jp](mailto:oyaken@sta.tenri-u.ac.jp)

印刷 天理時報社

Printed in Japan